

## 2025（令和7）年度 第7回理事会議事録

日 時：2025（令和7）年10月1日（水）～10月10日（金）

方 法：電子メールによるメール会議の形で行なわれた。

出席者：仲嶋一範（理事長）、池上浩司、大和田祐二、堀 修、宮田卓樹（以上、常務理事）、天野修、飯野哲、大内淑代、岡部繁男、島田昌一、高山千利、寺田純雄、徳田信子、野中直子、菱川善隆、藤山文乃、八木秀司、八代健太、吉田成孝（以上、理事）、秋田恵一、尾崎紀之（以上、監事）

### I 審議事項

#### 1. 議事録署名人の件

定款第39条に基づき、秋田恵一 監事と尾崎紀之 監事に依頼することが確認された。

#### 2. 第12回APICAの会頭について

本年7月2日開催の前回理事会にて、2027年3月に岡山で開催予定の第132回全国学術集会（大内淑代会頭）と併催する形で、第12回APICAを日本に招致することが決議された。その結果を受けて、組織委員会を設けて招致のための具体的な提案内容を検討し、8月9日に中国広州で開催された第11回APICA International Advisory Committeeで仲嶋理事長がプレゼンテーションを行った。その後の投票の結果、第12回APICAの日本開催が決定した。

その後、常務理事会メンバー全員を含む組織委員会で開催体制について様々な観点から検討を進めた結果、

1) 全国学術集会とAPICAは別に会頭を設ける。

2) APICA会頭については、開催地に近い広島大学の池上浩司教授（常務理事、中国・四国支部長）とする。

との結論が得られ、提案がなされた。

協議の結果、賛成多数にて了承された。